

7月のどきどき



美しくきれいな川に

心のふるさと安平川が美しく、自然豊かな川になることを願って「クリーン安平川の日」が誕生。環境を考えるきっかけにもなっており、7月5日にJR追分駅前の河川敷きでゴミ拾いや水質検査が実施されました。最後に護岸のコンクリートにペンキでペイント。子供たちはデザインや配色を考えながら真剣に取り組んでいました。



各試合でハッスルプレイ

安平町長杯野球大会が7月6日ときわ球場と早来中学校グラウンドで行われ、町内外6チームが参加しトーナメント方式で行われました。ファールになるフライを全力で追いかけるシーンや速球を的確に打ち返す場面も見られました。結果は優勝が安平町役場チーム、準優勝はプロテージでした。



安全で安心な社会に

苫小牧地区保護司会などの皆さんが7月3日役場追分庁舎を訪れ、社会を明るくする運動について法務大臣からのメッセージ文を読み上げ瀧町長に手渡しました。

メッセージの伝達式は犯罪者や非行を働いている人の立ち直りを呼びかけるもので今年で58回目になります。町長から「皆様の活動に感謝申し上げます。今後さまざまな方と協力して安全・安心な社会の実現を目指していきたい」と日ごろの取り組みに対して敬意と激励の言葉が贈られました。

サミット開催に向けて

北海道洞爺湖サミットの開催に向けて、鈴木忠康さん（早来北進）が自宅の庭木にイルミネーションを設置しました。

北海道型に剪定しながら40年間大切に育ててきたオンコに8種類に変化する電飾を付け夜間に映えるように細工し、メイン会場の洞爺湖町には高い塔を築き歓迎を表現しています。針金で添え木をしないことにこだわってきた鈴木さんですが、思い描いたとおりの出来栄になるか心配だったそうです。「細心の注意を払い根気のいる刈り込み作業でしたが、今は豆電球の光が心を癒してくれる」と顔がほころんでいました。



家畜の体型のバランスや肉質などを審査



第3回安平町畜産総合共進会兼JAとまこまい広域農業祭が7月12日に北海道ホルスタイン共進会場で行われ、家畜の体型のバランスや肉質などが審査されました。

燃料や肥料の高騰などで厳しい経営が続く畜産農家ですが、コスト削減を図りながら優れた家畜の改良に力を注いでいます。

牛の最高位賞は、乳牛・未經産の部1部のオーシャンヘンドリカストーム号(出陳者 山田澄恵)、経産の部6部のキャニオンサイドインクワイヤーマテイス号(同五十嵐貴満)、黒毛和牛・未經産の部3部ぼたん号(同西川勲)、経産の部4部えり号(同嶋敏樹)。また、肉豚枝肉の最優秀賞は安栗スワインが生産した豚でした。※敬称略